

ESOTERIC

Super Audio CD/CD Player **K-01XD SE** / **K-03XD SE**



ブランドのアイコン

VRDSに象徴される精緻を極めたメカニカルエンジニアリング、音楽のテクスチャーを彩り豊かに表現する独自のディスクリート回路、高音質再生の礎となる強力な電源部などESOTERICの特長を全て備えたブランドのアイコンが、創業以来手掛けてきたデジタルディスクプレーヤーの血統に連なるKシリーズです。

Kシリーズは2010年に登場して以来、その類まれなる音楽再生能力が高く評価され、世界中でデジタルプレーヤーのリファレンス機としての地位を不動のものとなりました。全ての音楽愛好家を虜にしてきたサウンドを、心ゆくまでお楽しみください。

SE

卓越の音響エンジニアリング、コストにとらわれない膨大な物量投入、「ミュージアム・クオリティ」のクラフトマンシップ、そして音楽を再生するにふさわしい美しいデザイン。ESOTERICは日本発のハイエンド・オーディオブランドとして、1987年のブランド創設以来、絶え間なく高音質再生の限界に挑戦し続けることで、オーディオ・イノベーションの先頭を歩んできました。

伝説的なスーパーオーディオCDトランスポートメカニズム「VRDS-ATLAS」。独自のディスクリート回路で構成された「Master Sound Discrete DAC」や「Master Sound Discrete Clock」。これら独自性の高い数々の技術革新をもたらしてきたESOTERICの歴史は、ハイエンドオーディオにおけるデジタルプレーヤー進化の歴史そのものである、と言っても決して過言ではないでしょう。

そして、新しいディスクリート・クロック技術とDACのアナログ部のアップグレードを主軸とした、K-01XD/K-03XDのSEモデルがここに登場しました。

私たちは、ブランドのプライドに掛けて、常に最高の音を目指しています。

今回発売するSEモデルには、オリジナルモデルが発売された時から現在までの考え得る全ての技術的な蓄積を反映させました。更に進化した臨場感、ダイナミクス、素晴らしくオーガニックで音楽性に溢れた音色のテクスチャーをお楽しみください。



K-01XD SE (VRDS-ATLAS 01搭載)

K-03XD SE (VRDS-ATLAS 03搭載)

VRDS ATLAS

VRDS (Vibration-Free Rigid Disc-Clamping System) は、ブランド設立以来、ESOTERICがこだわり続けてきたCD/スーパーオーディオCDトランスポートメカニズムの基幹技術です。ディスクを同径のターンテーブルに確実にクランプして回転させ、ディスク自身の回転振動やメカニズムの不要振動を徹底して排除します。また、ターンテーブルでディスクの反りを矯正し、光学ピックアップとディスクピット面の相対光軸精度を大幅に向上させることにより、サーボ電流を極小化。これらにより、ディスク読み取りエラーの大幅な減少と優れた音質を実現します。



K-01XD SEに搭載のATLAS 01

VRDS-ATLAS

VRDSメカニズムは、30年以上にわたり、進化を続けてきました。その輝かしい歴史の中で、最大のハイライトが、最高レベルの完成度と高音質を誇る新プラットフォームVRDS-ATLASの誕生です。フラグシップモデル (Grandioso P1X SE、K1X SE) に採用されたVRDS-ATLASリファレンスメカニズムの資質を余すところなく継承した、K-01XD SE、K-03XD SEそれぞれ専用のVRDS-ATLASメカニズムを搭載しました。

スチール製ブリッジはVRDS-NEOよりも大型化し、K-01XD SEに搭載されたATLAS 01は上位モデルと同一の20mm厚ブリッジ、K-03XD SEでは18mm厚ブリッジを採用。極めて高い剛性と重量を誇り、音質に影響を及ぼすあらゆる振動を減衰します。ターンテーブルは、音質に定評のあるジュラルミン製とし、スピンドル軸受けは、上位モデル同様スチールボールによる点接触のスラスト軸受けで、摩擦や回転ノイズを極限まで抑える設計としました。

ワイド&低重心設計がもたらす振動の最適なコントロール

VRDS-ATLASは、VRDS史上最も静かで、エレガント。それを実現する鍵となったのが、振動をより効率的に減衰させるメカニカルアース技術です。メカニズム全体を幅が広く、背が低いワイド&ロープロファイル設計とすることで、低重心化。同時にターンテーブル駆動用モーターをブリッジ最上部からターンテーブルの下側に移動することで、振動がアースされるまでの経路を大幅に短縮化し機械的ノイズを低減。トレーはくり抜きを最小限とすることで剛性を高め、特殊な振動吸収エラストマー樹脂製ストッパーでトレー収納時の共振も防いでいます。

音質の要となる強力な電源回路

力強さと彫りの深い立体的なサウンドを誇るKシリーズの音質の鍵は強力な電源部にありました。SEモデルでは、従来のXDエディションをベースに電源部も更にブラッシュアップされ、音色に更なる深みを加えています。K-01XD SEは合計4つの大容量トイダルトランスを搭載。D/Aコンバーター部のL/R、メカニズム、デジタル回路をそれぞれ専用の電源トランスから給電する贅沢な仕様としています。K-03XD SEは合計2つの大容量トイダルトランスを搭載し、デジタルとアナログの電源部を独立させ、ピュアな再生能力を獲得しています。



K-01XD SE(トップ側)



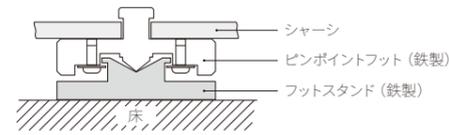
K-01XD SE(ボトム側)

ローフィードバックDCレギュレーター / スーパーキャパシターを搭載

Grandioso P1X SE/D1X SEの開発で培った技術を導入し、電源レギュレーターは、集積回路を使わないディスクリート構成で、フィードバック量を最小限とするローフィードバックDCレギュレーターを採用。力強く開放感溢れるサウンドを実現しています。また、K-01XD SEは合計71本(合計容量1,850,000 μ F=1.85F)、K-03XD SEは合計26本(合計容量650,000 μ F=0.65F)のスーパーキャパシター(大容量コンデンサー)を搭載。電源の大容量化で、低域の解像度などに目覚ましい音質向上を遂げています。

シャーシコンストラクションと部品配置

VRDS-ATLASトランスポートメカニズムはセンター配置とし、5mm厚のスチール製ボトムシャーシに固定して、独自のピンポイントフット(特許第4075477号、第3778108号)で3点支持。これにより回転メカニズムの振動を効果的に抑制しています。ピンポイントフットは、フット本体をボトムシャーシにねじ止めせず、設置時にシャーシの自重で支えられる構造により、面積の広いボトムシャーシにフットをねじ止めた場合に生じる応力の集中を避け、開放的なサウンドに貢献しています。シャーシ内部はダブルデッキ(2階建て)構造とし、主にオーディオ基板を上層、電源回路やトランス類を下層に配置することで、磁束漏れや振動などの影響を防ぐとともに電源供給の配線を最短化しています。



セミフローティングトップパネル

トップパネルをネジで締め付けないセミフローティング構造にすることで、伸びやかで開放感のあるサウンドを引き出します。

Master Sound Discrete Clock

for Digital Player



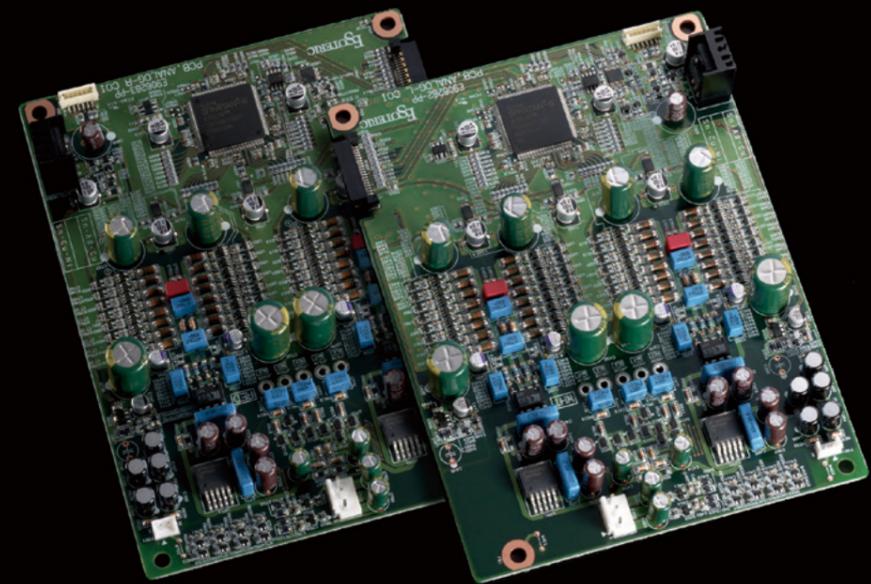
デジタル再生の高音質化の最大の鍵はクロック回路にあるといっても過言ではありません。ESOTERICは従来、汎用モジュールとしてパッケージ化されていたクリスタル発振回路にフォーカスを絞り、フラグシップ・マスタークロック・ジェネレーター Grandioso G1X用に独自のマニファクチュール・クロックモジュール「Master Sound Discrete Clock」を完成させました。G1X独自のディスクリート回路は、その優れた音楽表現力により、従来精度でのみ語られることの多かったクロックの世界に一石を投げ、高い評価を獲得しました。

このディスクリート回路の設計思想をデジタルプレーヤーの内蔵クロックに適用したのが、SEモデルで採用された「Master Sound Discrete Clock for Digital Player」です。大型の水晶発振子など、厳選したディスクリート部品を使った独自の回路設計により、汎用型のクロックでは実現できない、細部に至るまでESOTERICの思想を反映させた高音質を実現しています。また、Gシリーズ外部マスタークロックジェネレーターと接続し、新しいSEの内部クロック回路をさらに高精度な10MHzクロックに同期させることで音質をアップグレードすることも可能です。

Master Sound Discrete DAC

目指したのは音楽の躍動感、エネルギーの完全なる再現

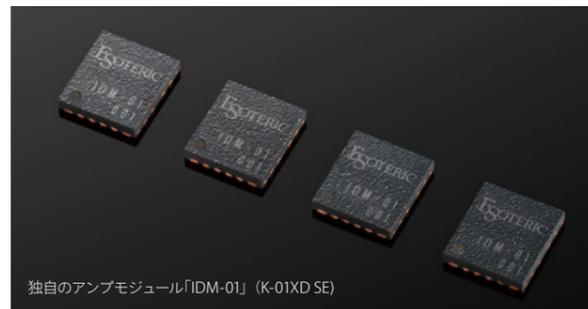
吟味を重ねたディスクリート部品で回路を組み上げることで、集積チップでは実現することのできない音楽の「躍動感」、「エネルギー」の完全なる再現を目指す。ESOTERICトップ・エンジニア・チームのプライドを懸けた渾身のサウンドが、完全自社設計のディスクリートD/Aコンバーター Master Sound Discrete DACに結実しました。



贅沢な物量投入と強力な電流出力能力

Master Sound Discrete DACは、ESOTERIC史上最も革新的なDACとしてGrandioso D1Xに初めて搭載され、そのライブ感溢れるサウンドが高く評価されました。K-01XD SE/K-03XD SEに搭載されたバージョンでは、K1X SEのエッセンスを凝縮しつつ、シンプルな回路構成とすることで更なる高みへと導いています。DACは、1チャンネル

当たり32の元素から構成され、各元素は、クロックドライバ、ロジック回路、コンデンサー、抵抗などの部品から構成され、主要部品は、32元素分を全て独立させるなど、D1X SEのフィロソフィーをそのまま発展させた贅沢な物量投入により、音楽のエネルギーを余さずビュアに出力します。



独自のアンプモジュール「IDM-01」(K-01XD SE)

高度なデジタル処理能力

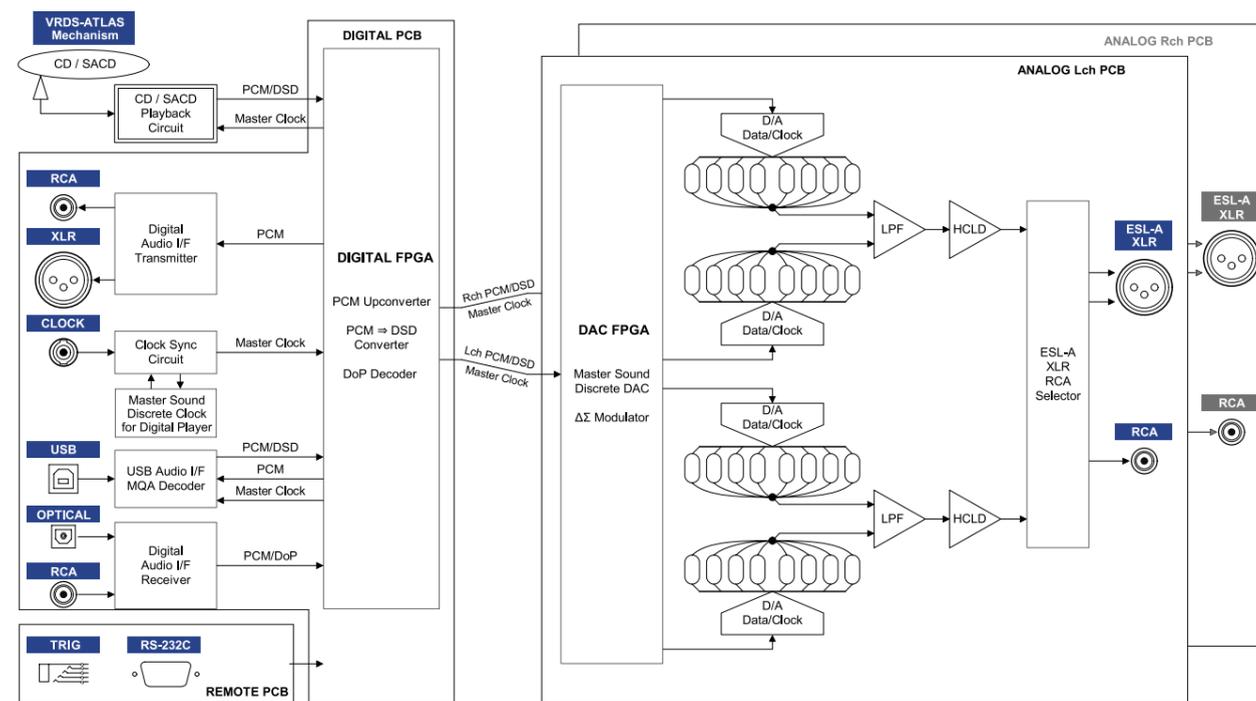
独自に開発された64bit/512Fs対応の $\Delta\Sigma$ モジュレーターを搭載し、DSD22.5MHzの再生をはじめとする最新フォーマットに対応。DSD、PCMをそれぞれ最適に再生するためのFPGAのデジタル処理アルゴリズムは、Master Sound Discrete DACのために開発された専用のアルゴリズムになっています。

DACアナログ回路部のディスクリートパーツをブラッシュアップ

新しいSEモデルにおいては、アナログ回路のディスクリートパーツをブラッシュアップすることで、更なる高音質化を目指しました。K-01XD SEではESOTERIC独自のアンプモジュール「IDM-01」を採用。素材や回路パターン、レイアウトまでを吟味することで、ディスクリート構成のアンプと同じようにESOTERICのサウンド・フィロソフィーを徹底させるとともに、集積回路の利点を生かした極めて短い信号経路により、音楽の躍動をダイナミックかつ繊細に増幅することができます。K-03XD SEにおいても、従来よりも更に高音質なプレミアム・グレードのアンプモジュールに変更しています。アンプモジュールのほか、アナログフィルターの抵抗やコンデンサーなど、アナログ部のパーツ選定を吟味し、試聴を繰り返すことで、より生々しいライブ感、聴感上のダイナミクス向上、よりオーガニックなテクスチャーを備えた音質を実現しています。

高度な品質管理が生む高音質

部品の公差が演算精度に直結するディスクリートDACにおいては、電子基板の製造にも高度なノウハウと品質管理が求められます。ESOTERICの自社ファクトリーは、病院のオペ室と同レベルのクリーンルームで、無酸素炉でハンダ付けを行うなど、世界有数の基板マウント技術を誇ります。オーディオ、医療・航空宇宙・防衛関連の電子基板製造で培った技術がMaster Sound Discrete DACの高音質を支えています。



独自の電流伝送強化型出力バッファ回路、ESOTERIC-HCLD

ESOTERIC-HCLD*出力バッファアンプは、応答速度を表すスルーレートが2,000V/ μ sという驚異的なハイスピードを誇る素子を採用。アナログ出力回路にとって最も重要な電流伝送能力とスピードを極限まで追求し、息を呑むほどのダイナミックレンジで音楽のリアリティーを再現します。

※ HCLD : High Current Line Driver

高音質な電流伝送方式 ES-LINK Analog を装備

アンプとの接続にライン接続(XLR, RCA)のほか、ESOTERIC独自の電流伝送方式ES-LINK Analogを採用。HCLDバッファ回路の強力な電流供給能力を生かすことにより、信号経路のインピーダンスの影響を受けにくくし、信号を力強く伝送することが可能。対応機器のポテンシャルを最大限に発揮します。



外部入力D/Aコンバーター機能、USB端子装備、多彩なD/Dコンバート、MQA対応

DSD22.5MHz、アシンクロナス伝送対応のUSBをはじめとする各種デジタル入力端子を装備し、D/Aコンバーターとしてもご使用いただけます。PCMデジタル信号を2/4/8/16倍(最大768kHz)にアップコンバートする機能や、PCMからDSDに変換する機能を搭載。MQA-CDのデコード再生やUSB入力をはじめとする各デジタル入力再生時のMQAコーデックにも対応します。





K-01XD SE

スーパーオーディオCD/CDプレーヤー
希望小売価格 2,310,000円(税込)



K-03XD SE

スーパーオーディオCD/CDプレーヤー
希望小売価格 1,595,000円(税込)



リアパネル
(共通)



両面リモコンRC-1333付属
(共通)

※1 EDLC (Electric Double-Layer Capacitor): 通常のオーディオ用電解コンデンサーに比べて、驚異的な大容量を誇る特殊なコンデンサーです。
※2 測定条件: スーパーオーディオCD、0dB、DSD/F=F2、XLR出力時

主な機能 SE印はSEモデルの新機能

(K-01XD SE)

- ブリッジ厚20mmの「VRDS-ATLAS (ATLAS 01)」トランスポートメカニズム
- プレミアムグレードの部品を採用した完全自社設計「Master Sound Discrete DAC」搭載
- 独自の増幅素子「IDM-01」など、DAC回路のアナログ部のディスクリートパーツをブラッシュアップ SE
- 4基の電源トランス構成 (DAC用は左右それぞれに専用トランスを配置)
- スーパーキャパシター「EDLC*」を合計71本 (合計容量1,850,000 μ F=1.85F) 搭載

(K-03XD SE)

- ブリッジ厚18mmの「VRDS-ATLAS (ATLAS 03)」トランスポートメカニズム
- 完全自社設計「Master Sound Discrete DAC」搭載
- DAC回路のアナログ部のディスクリートパーツをブラッシュアップ SE
- 2基の電源トランス構成 (デジタル/アナログ回路を独立)
- スーパーキャパシター「EDLC*」を合計26本 (合計容量650,000 μ F=0.65F) 搭載

(共通)

- 独自開発の64bit/512Fs対応 $\Delta\Sigma$ モジュレーターとFPGAプログラム
- 電流伝送強化型出力バッファー回路、ESOTERIC-HCLD (2,000V/ μ s)
- 音楽のエネルギーを余すところなく伝送する独自の電流伝送「ES-LINK Analog」
- 「Master Sound Discrete Clock for Digital Player」搭載 SE
- クロックシンク機能

再生可能ディスク:	スーパーオーディオCD、CD (CD-R/CD-RW対応)
アナログ音声出力:	XLR/ES-LINK Analog ×1系統、RCA ×1系統
デジタル音声出力:	XLR ×1系統、RCA ×1系統
デジタル音声入力:	RCA ×1、光デジタル ×1、USB B ×1
クロック入力:	BNC ×1 (10MHz、サイン波0.5 ~ 1.0Vrms)
外部コントロール入力:	RS-232C ×1、3.5mmモノラルミニ ×1 (DC 12V、55mA)
周波数特性*2:	5Hz ~ 30kHz (-3dB)
S/N比*2:	113dB (A-weight)
歪率*2:	0.0007% (1kHz)
電源/消費電力:	100V AC 50/60Hz、26W (K-01XD SE)、25W (K-03XD SE)
外形寸法 (W×H×D):	445 × 162 × 438mm (突起部を含む)
質量:	31kg (K-01XD SE)、28kg (K-03XD SE)

安全に関するご注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
- 水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障などの原因となることがあります。

©2024 All rights reserved. TEAC CORPORATION 当社は、ステレオの補修用性能部品を製造打切後8年保有しております。仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。製品の色は、撮影・印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。当社は、消費者庁及び公正取引委員会から認定されたルールに基づき、適正な表示を推進しています。ESOTERIC、Grandioso、VRDS、およびMaster Sound Discrete DACは、ティアック株式会社の登録商標です。Super Audio CDとDSDは登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。



ESOTERICブランドサイト
<https://www.esoteric.jp/>



製品に関するお問い合わせ、ご相談は AVお客様相談室へ。

携帯電話・IP電話からは 一般固定電話からは FAX
042-356-9235 **0570-000-701** **042-356-9242**
受付時間 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・弊社休業日を除く)

ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



ESOTERIC 製品取扱店